

福祉から環境まで 幅広く地域支える

坪井自動車鈑金



坪井自動車鈑金（坪井英倅社長、岐阜県大垣市）は、2016年12月以降、福祉から環境対応まで幅広い分野で新たな取り組みに挑戦し続け、顧客、地域社会、環境、社内の4つの側面で好循環を生み出している。具体的には、福祉車両改造による顧客の「移動の自由の確保」に向けた取り組み

に加え、電気自動車組みに加え、非常用電源として活用して災害時の電気の確保につながる実践的な体験普及活動、水性塗料の導入やニトロフューザー室素プラスチック溶接システムなどを活用した廃プラスチック削減など。

福祉車両改造の取り組みでは、「移動の自由をあきらめないためのクルマ選び・クルマの改造」を自社の使命に掲げる。メーカー製福祉車両の販売・点検・整備に加え、顧客の事情に応じた改造や電動リフト取り付けといったオーダーメイドにも対応し、福祉車両全体を地域で支える役割を担っている。車両の仕様を顧客と悩みながら決める

移動の自由をあきらめないクルマを

るため、車両完成時に言われる「ありがとう」の一言の重みが大きく感じられるそうだ。

活動を通じて、「自分たちの仕事が誰かの生活や命を支えている」と実感できる場面が増え、若手の定着や採用にも良い影響を生み出している。



【受賞者コメント】このたびは栄える賞にご選定いただき、心より御礼申し上げます。日々の事業活動や社会への取り組みを通じて積み重ねてきた歩みを評価いただけたものと受け止め、大変光栄に存じます。本受賞は、皆様のご助言のもと私とスタッフ一同が一丸となって挑戦を続けてきた成果であり、何より私とスタッフにとって大きな励みとなります。今後も地域とお客様から「ありがとう」を集めながら、次世代へつなぐ挑戦を続け邁進してまいります。